

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部 第7回北海道地方会

【日時】:平成31年6月29日(土)13時30分~18時10分(受付12時30分~)

【場所】:かでの2・7(北海道立道民活動センター 札幌市中央区北2条西7丁目)

【参加費】:支部会員 ¥2,000 非支部会員 ¥4,000 学生 無料

【テーマ】 生涯学習

【プログラム】

1. 開会のご挨拶(13:30 ~ 13:40)

2. 総会(13:40 ~ 14:00)

3. 学術発表(14:00 ~ 15:00)

「口演(一般演題)」

「生涯学習・EBM 実践でうまくいったケース、いかなかったケース報告会(ポスター発表)」

4. ワークショップ, など(15:10 ~ 16:40)

①ワークショップ1:「困っていませんか?適切な論文の選び方と批判的吟味

~エビデンスに騙されないコツ教えます~

講師:佐藤 健太 先生(勤医協札幌病院 内科・総合診療科)

向坊 賢二先生(勤医協札幌病院 内科・総合診療科)

伊藤 圭一郎先生(手稲家庭医療クリニック)

近藤 真理子先生(手稲家庭医療クリニック)

島津 匠生先生(手稲家庭医療クリニック)

加藤 利佳先生(手稲家庭医療クリニック)

※昨年のWSではエビデンスをどのように患者に当てはめるかを学びました。今年は、ガイドライン通りにやったら失敗した経験をもとに「適切な情報源の選び方」と、「見つけたエビデンスに騙されないコツ」を学びます。

②ワークショップ2:「家庭医 × オープンダイアログ」

講師:安喰 智美先生(札幌なかまの杜クリニック)

岩波 孝穂先生(順天堂大学/ODNJP)

槇尾 明子先生(札幌なかまの杜クリニック)

※オープンダイアログはフィンランドで開発された、地域精神医療アプローチ全体を指します。“対話”を中心としたアプローチであり、その汎用性は高く、家庭医のコンピテンシーとオープンダイアログの7つの原則を比べるとそのアプローチにおける共通点も多く、家庭医療での“対話”の活用が期待されます。今回はその“対話”を体験できる様なワークショップを行います。

③シンポジウム:「多職種でどう学び合うか?~生涯学習を考える~」

座長:小嶋 一先生(医療法人溪仁会 手稲家庭医療クリニック 院長)

シンポジスト:大塚 亮平先生(医療法人溪仁会 手稲家庭医療クリニック 副院長)

串間 孝朗先生(医療法人溪仁会 手稲家庭医療クリニック 医師)

門脇 睦子先生(医療法人せせらぎ 訪問看護ステーションそよ風 所長)

笹岡 佑樹先生(医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院 薬剤師)

播磨 孝司先生(医療法人訪友会 さっぽろ在宅医療クリニック訪問リハビリ作業療法士)

※小嶋一先生を座長として、医師、看護師、薬剤師、作業療法士といったシンポジストで、多職種での学び合いをそれぞれの立場や経験から、皆様で考え臨床での学びに活かせるシンポジウムにしたいと考えています。

④レクチャー：「日常診療アップデート」

企画責任者：松澤 廣希先生（手稲溪仁会病院 総合内科・感染症科）

※毎年恒例となりました、ニーズのあるコモンディーズに関してコンパクトに知識のアップデート、ガイドラインの要点などを解説します。今年度は不眠症、老年医学、がん検診、糖尿病の4つのテーマを予定しています。

⑤カフェ企画：「何かと忙しいみなさんの学習方法、時短術を教えてください」

企画責任者：山口 章江先生（十勝勤医協帯広病院）

※生涯学習が大切なのはわかっているけど、仕事に家庭に忙しい毎日で学習の時間が取れないのが悩みの種。みなさんは、どのような工夫で時間を捻出していますか？仕事において、家庭において様々な工夫、効率的な学習方法などをシェアしましょう。

みなさんからのアイデアをもとに、北海道地方会オススの生涯学習ライフハックをまとめます。twitterとも連動し、「#JPCA 北海道カフェ」でアイデアを募集します。

5. 基調講演：「家庭医・総合診療医の卓越性と生涯教育」（16:55 ～18:05）

講師：藤沼 康樹先生：（生協浮間診療所/医療福祉生協連家庭医療学開発センター（CFMD））

座長：木佐 健悟 （JA 北海道厚生連倶知安厚生病院）

※第7回地方会は「総合診療・家庭医療領域の生涯学習」をテーマに開催します。

プライマリ・ケアにあった、少人数の職場で継続していける生涯学習の方法を身につけなければいわゆる藪医者になってしまいます。しかしながら、そういった「生涯学習の方法」やその理論的背景について考える機会に乏しいのが現状です。

藤沼康樹先生は、新専門医制度ができる前から若手医師を指導し家庭医療専門医を多数輩出する一方、月刊誌「総合診療」に「55歳からの家庭医療 明日から地域で働く技術とエビデンス」を連載され、若手からベテランまでそれぞれに向けた生涯教育のあり方について日々発信されています。プライマリ・ケアの文脈でどのような点に気をつけて診療していくか、藪医者にならないように日々どうしていくか、といった内容を中心に、お話をいただきます。どの世代にもどの職種にも、刺激になること間違いなしです。

6. 閉会のご挨拶（18:05 ～ 18:10）

7. 懇親会（18:30 ～ ）……TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前（毎日札幌会館5階）を予定

- 託児室（かでの2・7内）を準備しています。ご希望の方は事務局へ
- 多職種でプライマリ・ケアを学ぶことができる貴重な機会です。
- 非支部会員の皆様も大歓迎！ふるってご参加下さい！

第7回北海道地方会 実行委員長 木佐 健悟
（副支部長, JA 北海道厚生連倶知安厚生病院総合診療科）



日本プライマリ・ケア連合学会

第7回

多職種でプライマリ・ケアを学ぶ

北海道地方会

2019年6月29日(土)

13:30～18:10

於：かでる2.7

生涯学習

◎ 学術発表（口演・ポスター） 14:00～

◎ ワークショップなど 15:10～

WS1 困っていませんか？適切な論文の選び方と批判的吟味
～エビデンスに騙されないコツ教えます～

WS2 家庭医×オープンダイアログ

シンポジウム 多職種でどう学び合うか？～生涯学習を考える～

レクチャー 日常診療アップデート 不眠症 老年医学 がん検診 糖尿病

カテ 何かと忙しいみなさんの学習法、時短術を教えてください

◎ 基調講演 16:55～

「家庭医・総合診療医の卓越性と生涯教育」

生協浮間診療所/医療福祉生協連家庭医療学開発センター（CFMD）

藤沼康樹先生



参加費 支部会員:2,000円 非支部会員:4,000円 学生:無料

託児室あり（事前予約）

「家庭医療専門医、プライマリ・ケア認定更新のための単位」、「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位」が取得できます（申請中）



詳細やお申込み方法については
ホームページをご覧ください
<http://jpca-hokkaido.jp/>

日本プライマリ・ケア連合学会
北海道ブロック支部事務局（市立美唄病院内）
TEL:0126-63-4171 FAX:0126-63-4300
E-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com